

第48回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 議事録

1. 開催日時 令和3年7月20日(火) 10:00~11:30

2. 開催場所 奈良県コンベンションセンター 会議室201

3. 出席者

会 長 奈良市 市長 仲川げん
副 会 長 京都大学大学院工学研究科 教授 藤井 聡
委 員 近畿運輸局奈良運輸支局 支局長 澤島 弘幸 (代理) 中村 洋一
委 員 近畿地方整備局奈良国道事務所 所長 種蔵 史典
委 員 奈良市自治連合会 代表 尾形 季久雄
委 員 公益社団法人奈良市観光協会 会長 乾昌弘 (代理) 箕倉 弘昌
委 員 西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部大阪支社総務企画課長 兒嶋 一裕
委 員 近畿日本鉄道株式会社 総合企画部長 山本 恒平
委 員 奈良交通株式会社 乗合事業部長 大西 秀樹
委 員 奈良県タクシー協会 専務理事 葛城 滝男
委 員 奈良県交通運輸産業労働組合協議会 事務局長 今西 宏 (代理) 橋 義之
委 員 奈良県奈良警察署 署長 中西 和弘 (代理) 工藤 敦
委 員 奈良県警察本部交通部交通規制課 課長 今村 浩三
委 員 奈良県奈良土木事務所 所長 宮本 慶三
委 員 奈良県県土マネジメント部 次長 松田 浩之
委 員 奈良県県土マネジメント部地域デザイン推進局 次長 岡部 共成
委 員 奈良市都市整備部 部長 中原 達雄

(欠席)

委 員 公益社団法人奈良県バス協会 専務理事 井上 景之
委 員 奈良県タクシー協会奈良市部会 代表 北浦 光顕

4. 議事

◆事務局からの説明

- (1) 令和2年度決算と監査報告
- (2) 令和3年春期の取組概要
- (3) 奈良中心市街地の渋滞状況と分析
- (4) 令和3年春期の取組内容と結果
- (5) 令和3年秋期の取組内容（案）

◆審議内容（主な意見）（●：委員の意見 ○：事務局回答）

(1) 令和2年度決算と監査報告

・意見なし

(2) 令和3年春期の取組概要

(3) 奈良中心市街地の渋滞状況と分析

(4) 令和3年春期の取組内容と結果

- 県庁東交差点東行きの渋滞長が減少した一方で車両台数が増加したことについて、車両の流出先や来訪目的、来訪者の特徴など、車両が増加した原因を分析しているか。
- ぐるっとバスのスキップ運行により、バスの停車による混雑が緩和されることで、通過しやすくなり、交通量が増加した可能性が考えられる。奈良公園内の道路の混雑時には、飽和状態で車両が進入できず、交通量が減少し渋滞が伸びる傾向がある。過去にも奈良公園内道路の混雑がない時は、交通量が増加する傾向がみられた。
- 最近、「ミ・ナーラ」に「ロピア」が開店してから二条大路南交差点西行きの渋滞が発生している。奈良市役所付近の二条大路南1丁目交差点への流入に関して何か影響はみられるか。
- 二条大路南1丁目交差点において、西行きの夕方は17時50分に渋滞長が2,040mとなった。例年よりも総交通量が減少している一方で、奈良公園方面から大阪方面への交通量ピークである15時台に、例年よりも増加し、渋滞が発生している。「ロピア」の開店による影響も考えられるが、秋期に向けて二条大路南1丁目交差点における西行きの渋滞について分析を進める。
- 奈良市内の交通流はかなり変化しており、大和西大寺駅南口への進入車両も増加している。交通の円滑化のため、信号機による交通量の制御と実際の交通が大きく異なる場合は、信号機の設定を変更する必要がある。「ロピア」周辺の渋滞については、入庫時または出庫時のどちらの影響が大きいかが検討が必要である。
- 普段の15～17時頃より発生する奈良公園からの大阪方面（大宮通りの西行き車線）への渋滞の改善策はないか。
- 大阪方面へ帰宅する車両が集まっていると考えられる。そのため、大宮通りに集中する車両を三条通りへ迂回させることを検討している。
- 学園前駅に向かう朝の通勤時間帯の交通規制は何十年と定着しており、マイカー規制により公共交通利用を促す良いモデルである。規制誘導により、車両の総量をコントロールするこ

とは有効であると考えため、抜本対策として中心市街地でも検討いただきたい。

- 令和 3 年 4 月から大和西大寺駅南口駅前広場の供用を開始し、流入する車両が増加したことで、菅原東交差点が混雑している。現状を把握するため菅原東交差点でも交通状況の調査は出来ないか。
- 菅原東交差点と二条大路南 1 丁目交差点を含め交通量が多く、互いの道路状況だけでなく複合的に大きな視野を持って検討が必要である。
- 大和西大寺駅南口付近は区画整理も概ね終了し、土地利用が進み商工会の移転に関する話も出ている。そのため住宅だけでなくオフィスも含め新たなまちづくりが広がることが予想される。それに伴い、交通の流れも変化し、「ロピア」の開店も含めた複合的な要因で交通に影響が出ていると考えられるため、指標の設定やデータの収集方法、分析方法等は柔軟に考えるタイミングである。
- 菅原東交差点の混雑は、大和西大寺駅南口へ乗り入れるぐるっとバスも関係するため、引き続き調査する。
- 駅等で人の混雑状況を発信するため、市内各地の混雑状況を計測している。このようにデータを自動収集する仕組みができると公共交通のマネジメントに役立つ。混雑状況を利用者が自ら調べることで、事前に混雑を避ける行動を選択することに繋がると考えている。本協議会で実施する半年ごとの調査結果報告が、一般のユーザーに向けてリアルタイムに道路の混雑状況を発信できる仕組みができれば、データをもとに状況に応じた行動選択ができるのではないかと期待している。秋期の取組みの中では、データ分析に注力する必要がある。
- バスロケーションシステムのアクセス数は、令和 3 年 4 月より例年になく高い伸び率となった要因はなにか。バス停でバスロケーションシステムを利用するきっかけは測り難いため、利用者や関係者から情報を収集し、改善要素にしていきたい。
- 3 月以降の大幅増加の要因については詳細に分析出来ていない。

(5) 令和 3 年度秋期の取組内容（案）について

- 令和元年より令和 2 年の方がパークアンドライドを道中で知った割合が増加している要因は何か。看板設置の「最適化」とあるが、道中での認知割合が増加した要因が看板としている中で、看板の設置枚数を削減するということか。
道中でパークアンドライドを知った人に対して「知った媒体」を分析しているが、出発前における対策が公共交通利用の促進で最も大切である。パークアンドライドを知っている人が事前に知った媒体が各施策の情報提供を実施するうえで注力すべき媒体の参考となる。ぐるっとバスやシェアサイクル等の利用促進に向けて、YouTube による情報周知が有効であれば実施すべきである。事前の情報周知に向けた媒体についても検討が必要である。
- 道中でパークアンドライドを知った割合が増加した詳細な原因は不明である。看板の設置については、考え方を整理し詳細な設置位置等は今後検討していく。これまでかなり密に設置していた箇所については削減を想定しているため、全体として減少する可能性はあるが、設置の考え方にに基づき、秋期に向けて看板を設置したうえで道中の看板等の視認率や認知度の変化を確認し、更なる改善

を図ることが必要と考えている。

- 電光掲示板の回答者がいなくなったのはなぜか。
 - 電光掲示板の回答割合が少なくなった原因として、令和2年はコロナの拡大に伴い外出自粛の掲示をしていたことが考えられる。
 - パークアンドライドを事前に知る人が知った媒体は、注力する広報を検討する参考となるため、事前に知った人の媒体を分析するべきである。
-
- 事務局が YouTube や HP による広報に注力する目的は、去年に比べ減少した公共交通分担率を増加させようという狙いか。
 - 令和2年の秋期は前年と比較して、公共交通分担率が減少し、自家用車での来訪者が増加している。公共交通の割合は、令和元年秋期が73%に対して令和2年が65%であった。
 - 公共交通分担率も新型コロナウイルスの影響で低下しているため、秋期には YouTube や HP などについて試験的に実施を検討している。事前に知る媒体は基本的に「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」(ホームページ)である。YouTube 動画については、アクセスナビでの公開を検討している。
 - 令和2年に自家用車の割合が増加しているが、新型コロナウイルスが収束すると、自動車利用の割合が減少する可能性も考えられる。YouTube 動画をアクセスナビで公開する目的は、公共交通による来訪を第一として自動車来訪者に対してパークアンドライド駐車場の利用を促進するためか。
 - パークアンドライドの情報をインターネット等で調べている人は良いマーケットターゲットであるため、公共交通に誘導できるような仕掛けができれば良い。
-
- 「シェアサイクルの広報の拡充」を目指す中で、奈良市役所駐車場のレンタサイクルを中止する理由は何か。奈良市役所のレンタサイクルは好評であり、コロナ禍でも、レンタサイクルの利用が増えることが想定されるのではないか。
 - レンタサイクルは、シェアサイクルとは違い自転車を貸し出す際の利用者との接触機会が多いため、今回は、レンタサイクルは中止の方向で検討している。なお、現在奈良市役所はコロナワクチン接種会場となっているため、駐車場でのパークアンドライドの中止も検討中である。
 - ワクチン接種には、多い日で1,200人訪れ、奈良市役所駐車場が満車になるようだが、例えば国道24号高架下駐車場で自転車を貸し出すことも1つの方法である。
-
- 三条通りへの迂回誘導等について、県庁東から大阪方面へ向かって走行する車両にとって油阪西交差点を下って大森町西交差点まで行く迂回は遠回りのため受入れられるかが懸念されるが、試行してみないとわからない。

5. 閉会

以上